

ブラッドリー大学 単位認定試験プログラム

TACは米国イリノイ州にあるブラッドリー (BRADLEY) 大学と提携し、日本にいながらUSCPA試験の受験資格として認められる会計単位およびビジネス単位をお取りいただける単位認定試験プログラムを提供しています。

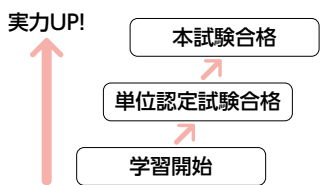
5-1

単位認定試験プログラム3つの特長

①本番さながらのコンピュータ試験会場であるピアソンVUE公認テストセンターで受験できる
本番さながらのコンピュータ試験会場であるピアソンVUE公認テストセンターで受験いただけます (日本国内)。
本試験さながらのコンピュータ試験の雰囲気を経験することができることは大きなアドバンテージになります。

②TACの講義を受けることで対応する科目の試験が受験できる
TACの講義を受講すると、その講義科目に対応しているBRADLEY大学の科目の単位認定試験が受験でき、これに合格することで会計・ビジネス単位を効率的に取得することができます。

③学習進度の「マイルストーン」になる！
米国のキャンパスに通っている学生が受験するのと同等の難易度のテストなので、決して楽勝のテストではありません。しかし、TACの受験対策の講義と問題集、そしてプレテストを解くことで合格レベルに達することができるテストです。つまりこの試験に受かること＝米国の受験生と同等の実力が身についていることの証でもあり、合格に近づいていると自信を持っていただける「マイルストーン」的な試験と捉え、取り組んでいただけます。



5-2

受験可能単位対応表

TACのUSCPA試験対策での学習内容に連動した単位認定試験科目が配置されています。

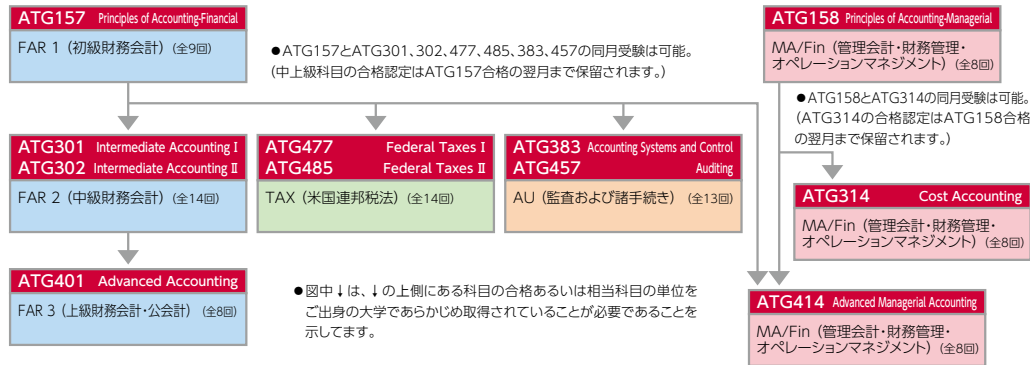
		ブラッドリー大学単位認定試験科目名				4科目対策コース				追加ビジネス単位取得コース		
試験科目	TAC講義科目名	科目コード	単位数	区分	科目名	総合 本科生 Plus	総合 本科生	Becker 30	Becker 会計士	追加単位取得クラス (有料オプション)		
										Contemporary Business	Macro economics	Quantitative Analysis
FAR	FAR 1	ATG157	3	会計	Accounting Principles Financial	●	●	●	●			
	FAR 2	ATG301	3	会計	Intermediate Accounting I	●	●	●	●			
		ATG302	3	会計	Intermediate Accounting II	●	●	●	●			
	FAR 3	ATG401	3	会計	Advanced Accounting	●	●		●			
BEC	MA/Fin	ATG158	3	会計	Accounting Principles Managerial	●	●	●	●			
		ATG314	3	会計	Cost Accounting	●	●	●	●			
		ATG414	3	会計	Advanced Managerial Accounting	●	●					
		FIN322	3	ビジネス	Business Finance	●	●					
	Eco	ECO100	3	ビジネス	Introduction to Economics	●	●					
	IT	MIS389	3	ビジネス	Management Information Systems	●	●					
REG	TAX	ATG477	3	会計	Federal Taxes I	●	●		●			
		ATG485	3	会計	Federal Taxes II	●	●		●			
	BL	ML459	3	ビジネス	Topics in Management Business Structures	●	●		●			
		BLW345	3	ビジネス	The Law of Business	●	●		●			
AUD	AUD	ATG383	3	会計	Accounting Systems and Control	●	●					
		ATG457	3	会計	Auditing	●	●					
	Contemporary Business	BUS100	3	ビジネス	Contemporary Business					●		
	Macroeconomics	ECO222	3	ビジネス	Principles of Macroeconomics						●	
	Quantitative Analysis	QM262	3	ビジネス	Quantitative Analysis I							●
取得可能 単位数計	会計単位	11科目	33単位			33単位	33単位	15単位	24単位	—	—	—
	ビジネス単位	8科目	24単位			15単位	15単位	—	6単位	3単位	3単位	3単位

会計…会計科目 ビジネス…ビジネス科目

5-3

会計科目の事前要件について

事前要件とは、300番台以上の中上級科目を受験するにあたり、あらかじめ合格しておくべき下位科目があることを言います。



凡例 BRADLEY (ブラッドリー) 大学科目コードNo.
履修が必要な総合本科生の科目名
1科目あたり3単位です。

- ATG158とATG157を取得していなければATG414を受験することができません。
- ATG158とATG414を同時に受験することはできません。
- ATG302を受験するためには、ATG301 (または同等の単位) を取得している必要があります。ただし同月受験は可能です。
- 中上級科目 (ATG157, ATG158以外) 取得後に、事前要件に該当する初級科目を受験することはできません。
- ATG314とATG414を同時に受験することができますが、ATG414取得後にATG314をさかのぼって取得することはできません。

5-4

追加ビジネス単位取得コースについて

さらにビジネス単位が必要な方のために別途受講 (DVD専用クラス) することで下記3科目9単位の単位認定試験をご受験いただけるコースです。

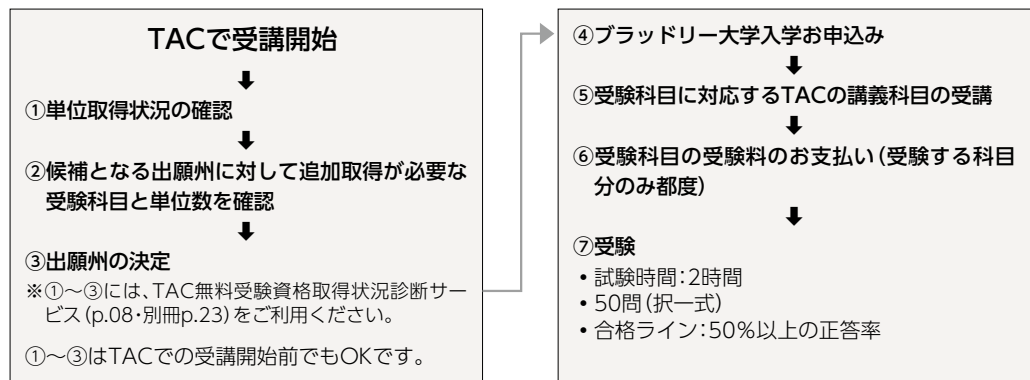
※BUS100に関しましては、すでにブラッドリー大学でビジネス単位を12単位以上取得されている方は受験できません。

BUS100 Contemporary Business	コース名	国内通常受講料 (10%税込)	国内割引受講料 (10%税込)
Contemporary Business (全5回)	Contemporary Business (全5回)	¥21,000	¥10,500
ECO222 Principles Macroeconomics	Macroeconomics (全5回)	¥21,000	¥10,500
QM262 Quantitative Analysis	Quantitative Analysis (全5回)	¥21,000	¥10,500

※講義パックまたはBecker日本語講義+教材セットをご受講いただいている方は通常受講料、総合本科生 (Plus)・Becker30コース・Becker会計士専用コースをお申込みの方は、割引受講料でお申込みいただけます。上記以外の方はお申込みできません。
※海外受講料は、別冊「日程・受講料・お申込みガイド」をご覧ください。
※上記受講料に加え、対応する科目の単位認定試験受験料が必要となります。

5-5

単位認定試験ご利用の流れ



ブラッドリー大学について

ブラッドリー大学は、ビジネススクールとしての評判も高い上、同大学出身者が米国公認会計士として多数活躍しています。また、同大学では実務の世界に直結した内容の会計、ビジネス系科目の講義が数多く行われています。ブラッドリー大学はAACSB (※) で認可されている大学ですので、取得していただける単位は米国公認会計士試験の受験資格を満たすために必要な会計・ビジネス単位として多くの州で認められています。
(※) AACSB (The Association to Advance College Schools of Business) とは、経営学、会計学などビジネス系科目の学術研究レベル向上を目指した米国大学機関を中核とする国際機関です。BRADLEY (ブラッドリー) 大学については <https://www.bradley.edu/> もご覧ください。



単位認定試験実施スケジュール

ブラッドリー大学入学登録完了後に受験する科目を都度お申込みいただき、受験することができます。日本では、全国のピアソンVUE公認テストセンターでコンピュータ試験が随時受験できます。米国では1年間を3ヵ月区切りの4つの期に分け、ニューヨークは5月・11月、ロサンジェルスは2月・8月の各々年2回会場受験形式での実施となります。

	第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期			第Ⅳ期		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本	コンピュータ試験実施期間 ※試験結果は、受験月翌月中旬の発表となります。			コンピュータ試験実施期間 ※試験結果は、受験月翌月中旬の発表となります。			コンピュータ試験実施期間 ※試験結果は、受験月翌月中旬の発表となります。			コンピュータ試験実施期間 ※試験結果は、受験月翌月中旬の発表となります。		
米国		会場試験実施 (ロサンジェルス)			会場試験実施 (ニューヨーク)			会場試験実施 (ロサンジェルス)			会場試験実施 (ニューヨーク)	

※会場試験の結果は、受験月翌月中旬に発表します。

【ご注意】※同一期間内にコンピュータ形式と会場受験形式での受験を併用することが可能です(但し、同一期間内に同一科目をコンピュータ形式と会場の双方で受験することはできません)。
※一部の科目は事前要件(Prerequisite)を満たす必要があります。
※第Ⅰ期～第Ⅳ期の各期において受験可能な最大単位数は5科目・15単位までとなります(各期においてコンピュータ形式と会場受験形式での受験を併用することは可能ですが、この場合でも合算して5科目・15単位を超えて受験することはできません)。
※1年間での最大総取得単位は、14科目・42単位までとなります。ここでいう1年とは連続する4つの期をいい、年度をまたいでもリセットされません。
※上記を超える単位につきましては、たとえ受験された場合でも無効となりますのでご注意ください。
※お申込み後の返金・キャンセル・科目変更、受験形式の変更はできません。
●コンピュータ形式での受験について
※テストセンターの混雑状況によっては、ご希望の受験日・時間帯に受験できない場合がございます。
●会場受験形式での受験について
※同一時間帯に実施される複数科目の受験はできません。

単位取得サポート制度のご案内

この制度は、総合本科生(Plus)、Becker 30コース、Becker 会計士専用コースを受講中または受講履歴のある方が、いつでも手続きいただいても割引金額で単位認定試験を受験いただけるお得な制度です。



★総合本科生、Becker 30コース、Becker 会計士専用コースをお申込みいただくと
ブラッドリー大学単位認定試験の受験料が25%OFF!

コンピュータ形式: 1科目(3単位) 24,000円⇒18,000円 (10%税込)
海外会場受験形式: 1科目(3単位) 24,000円⇒18,000円

単位認定試験プログラム 費用・単位数・受験地一覧

項 目	内 容
費用	ブラッドリー大学入学金: 7,000円 単位認定試験受験料 ・4科目対策コース*受講生: 18,000円/科目(単位取得サポート制度適用) (※総合本科生Plus・総合本科生・Becker 30・Becker会計士のいずれか) ・講義バック生・単科生: 24,000円/科目
単位数	3単位/科目
受験地	日本国内: 全国のピアソンVUE公認テストセンター(通年受験可) 米国国内: 会場試験(3ヵ月毎) ロサンジェルス: 2月・8月、ニューヨーク: 5月・11月
受験期限	各単位認定試験お申込後3ヵ月以内 ※コースの受講有効期限終了後でもご受験いただけます。例えばアラスカ州で合格後ワシントン州で必要な追加単位を取得する場合等必要な時にご受験いただけます。

出願州別推奨取得科目一覧

「アラスカ州(AK)」、「モンタナ州(MT)」、「ワシントン州(WA)」、「グアム(GU)」,そして「アラスカ州に出願して合格後ワシントン州へ合格実績を移行する場合(AK→WA)」,それぞれの州で必要な会計単位、ビジネス単位を現在いずれもお持ちでない場合の推奨取得単位です。

①出願州別推奨取得科目一覧

試験科目	TAC講義科目名	ブラッドリー大学単位認定試験科目名				出願州					
		科目コード	単位数	区分	科目名	アラスカAK	モンタナMT	ワシントンWA	グアムGU	アラスカAK	ワシントンWA
FAR	FAR 1	ATG157	3	会計	Accounting Principles Financial	●	○	●	○	●	
	FAR 2	ATG301	3	会計	Intermediate Accounting I	●	◎	●	◎	●	
		ATG302	3	会計	Intermediate Accounting II	●	●	●	●	●	
	FAR 3	ATG401	3	会計	Advanced Accounting			●	●		●
BEC	MA/Fin	ATG158	3	会計	Accounting Principles Managerial	●	○	●	○	●	
		ATG314	3	会計	Cost Accounting	●	●	●	◎	●	
		ATG414	3	会計	Advanced Managerial Accounting		◎	●	●		●
		FIN322	3	ビジネス	Business Finance		●	●	◎		●
	Eco	ECO100	3	ビジネス	Introduction to Economics		●	●	◎		●
	IT	MIS389	3	ビジネス	Management Information Systems		●	●	●		●
REG	TAX	ATG477	3	会計	Federal Taxes I		◎	●	◎		●
		ATG485	3	会計	Federal Taxes II		●				
	BL	ML459	3	ビジネス	Topics in Management Business Structures		●	●	●		●
		BLW345	3	ビジネス	The Law of Business		●	●	◎		●
AUD	AUD	ATG383	3	会計	Accounting Systems and Control		●		●		
		ATG457	3	会計	Auditing		◎		◎		
	Contemporary Business	BUS100	3	ビジネス	Contemporary Business		●	●	●		●
	Macroeconomics	ECO222	3	ビジネス	Principles of Macroeconomics		●	●	◎		●
	Quantitative Analysis	QM262	3	ビジネス	Quantitative Analysis I		●	●	●		●
取得可能 単位数計	会計単位	11科目	33単位			15単位	30単位	24単位	30単位	15単位	9単位
	ビジネス単位	8科目	24単位			—	24単位	24単位	24単位	—	24単位
					必要単位数計	15単位	54単位	48単位	54単位	15単位	33単位

●推奨取得単位(◎そのうち指定科目) ○中上級単位を取得するための事前に取得が必要な単位
※各州の単位要件の詳細についてはP07および別冊P22をご参照ください。

②出願州別単位取得費用一覧(10%税込) 会計単位、ビジネス単位いずれも0の方の場合

出願州	AK	MT	WA	GU	AK	WA
ブラッドリー大学入学金	7,000円	7,000円	7,000円	7,000円	7,000円	—
要取得科目数	5科目	18科目	16科目	18科目	5科目	11科目
受験料(18,000円/科目)	90,000円	324,000円	288,000円	324,000円	90,000円	198,000円
追加ビジネス単位 取得コース受講料	—	31,500円 (3科目分)	31,500円 (3科目分)	31,500円 (3科目分)	—	31,500円 (3科目分)
計	97,000円	362,500円	326,500円	362,500円	97,000円	229,500円

※上記に記載した追加ビジネス単位取得コース受講料と受験料は総合本科生(Plus)・Becker 30・Becker 会計士専用コースをお申込みいただいた場合の割引受講料です。
※上記費用の他に成績証明書発行手数料(1通当たり2,500円)等が別途必要となります。
※単位認定試験に不合格となった場合で再受験される場合はあらかじめ受験料が必要となります。

【必ずお読みください】

2020年8月現在の各州の受験資格に基づいて作成しています。今後変更となる場合があります。
すでに上記ブラッドリー大学の各科目と同等の単位を取得されている場合や、現在在学中の方で同等の単位を取得見込の方は、不足分のみブラッドリー大学の単位をお取りください。その際推奨単位が変わる場合があります。また出願予定の州に対して必要な単位をすべてお持ちの場合はブラッドリー大学の単位取得は不要です。
出願州に対して必要な追加単位のご確認いただくには、TACの無料受験資格取得状況診断サービスをご利用ください。